

少数台数のリコール届出の公表について（令和7年11月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、令和7年11月は16件の届出がありましたので公表します。

なお、対象が100台未満となるリコールで、既に公表済みの1件については、こちらへの記載はしておりません。

1. 三菱ロジスネクスト株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
11月7日	5730	車名：ニチュ三菱 他 型式：ZAF-261E 他 通称名：トランサー	6台	平成27年 1月30日 ～ 令和 1年10月25日
不具合の部位等				
制動装置のバックプレートにおいて、設計検討が不十分なため、荷役装置のリフトシリンダと干渉しているものがある。そのため、荷役作業等でバックプレートとリフトシリンダに摩擦が生じ摩耗することにより、バックプレートが破損し、最悪の場合、制動力が低下するおそれがある。				

2. 日立建機株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
11月10日	5734	車名：日立 型式：YDS-H83 通称名：ZW220-6	12台	令和5年 3月24日 ～ 令和6年11月 7日
不具合の部位等				
ショベル・ローダのステアリングバルブにおいて、製造工程が不適切なため、油圧流量を分配するスプール穴が歪んでいるものがある。そのため、ハンドル操作を途中で停止した際、油圧ポンプからの油量をコントロールできず、適切に行われず旋回動作が止まらず、安全な運行を確保できないおそれがある。				

3. スカニアジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
11月11日	外4102	車名：スカニア 型式：2DG-A4X2ACG 他 通称名：スカニア (LPGRS シリーズトラック)	8台	平成30年 1月22日 ～ 令和 2年10月 5日
不具合の部位等				
エンジン制御ユニットにおいて、設計検討が不十分なため、NOx 排出量を減らすための出力低減機能が正常に作動しないことがある。そのため、NOx 排出量が基準値を超え、保安基準に適合しないおそれがある。				

4. いすゞ自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
11月13日	5732	車名：いすゞ 型式：PKG-CYJ77W8 他 通称名：ギガ	31台	平成18年10月11日 ～ 平成22年 7月 9日
不具合の部位等				
交換修理用部品のサプライポンプにおいて、表面処理工程が不適切なため、部品強度が不足しているものがある。そのため、高負荷運転の繰り返しにより亀裂が生じ、燃料漏れに至るおそれがある。				

5. ポルシェジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
11月14日	外4111	車名：ポルシェ 型式：7BA-E3SPA 他 通称名：Cayenne GTS 他	10台	令和5年10月11日 ～ 令和7年 4月 7日
不具合の部位等				
高圧燃料ポンプにおいて、製造工程が不適切なため、固定ボルトが正しいトルクで締め付けられていないものがある。そのため、使用過程で当該ポンプの固定が緩み内部損傷が発生し、最悪の場合、燃料が漏れ、火災に至るおそれがある。				

6. UDトラックス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
11月18日	5736	車名：UDトラック 型式：2PG-GK5AAB 他 通称名：クオン	92台	平成29年 6月 9日 ～ 令和 3年 2月22日
不具合の部位等				
<p>電制エアドライヤにおいて、修理でセントラルシャシ入出力モジュールの旧型を現行型に交換する際のプログラム書き込み指示が不適切なため、エアドライヤの再生プログラムに関するソフトウェアが最新版に更新されていない。そのため、エアドライヤの乾燥再生動作が適切な頻度で実行されず、乾燥剤の吸湿能力が低下し、高湿度圧縮空気がエアタンク及び各エアシステム回路内で結露し凝縮水が生成される。そのままの状態で使用を続けると、凝縮水の影響により車高調整不良等が発生することがある。</p> <p>さらに、最悪の場合、外気温が氷点下の環境において、</p> <p>①トレーラ側ブレーキ回路内で凝縮水が凍結し、トレーラ側の主ブレーキが効かない、または駐車ブレーキ引きずりにより火災に至るおそれがある。</p> <p>②ブレーキ系のエアバルブ内に残留した水分が凍結し、ブレーキ異常の警告メッセージが表示されるとともに、電子制御ブレーキシステム（EBS）が作動不良に至るおそれがある。</p>				

7. UDトラックス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
11月18日	5737	車名：UDトラック 型式：2PG-GK5AAB 他 通称名：クオン	93台	平成29年 8月 1日 ～ 令和 3年 2月26日
不具合の部位等				
<p>修理でフロントシャシ入出力モジュールの旧型から現行型に交換する際のプログラム書き込み指示が不適切なため、前照灯の自動点灯機能に関するソフトウェアが最新版に更新されていない。そのため、IG 電源オン時に当該モジュール内の演算処理状況によってはメモリ容量が不足することがあり、メモリ容量が不足し演算処理ができなくなった場合、自動点灯・消灯機能が非常用モードになり、照度に関係なくすれ違い用前照灯が常時点灯状態となり、保安基準に適合しなくなるおそれがある。</p>				

8. ゼネラルモーターズ・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	輸入期間
11月20日	外4116	車名：キャデラック 型式：ZAA-L233 通称名：リリック	36台	令和7年 5月19日 ～ 令和7年 7月24日
不具合の部位等				
<p>ヘッドランプコントロールモジュールにおいて、設計検討が不十分なため、プログラムに不備がある。そのため、対向のバイクや自転車の接近を検知しても走行用前照灯が減光せず、保安基準に適合しない。</p>				

9. ゼネラルモーターズ・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	輸入期間
11月20日	外4117	車名：キャデラック 型式：ZAA-L233 通称名：リリック	36台	令和7年 5月19日 ～ 令和7年 7月24日
不具合の部位等				
ボディーコントロールモジュールにおいて、設計検討が不十分なため、プログラムに不備がある。そのため、タイヤ空気圧が 20%以上減少した際に、タイヤ空気圧警報の警告灯が規定時間内に点灯せず、保安基準に適合しない。				

10. 株式会社小松製作所

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
11月21日	5738	車名：コマツ 型式：YDP-WA138 他 通称名：WA100-8 他	7台	令和5年12月 4日 ～ 令和5年12月11日
不具合の部位等				
ショベル・ローダの前面、後面、および側面ガラス（ドア部除く）において、誤った下塗り剤（プライマー）を使用したため、ガラスの接着力が弱い。そのため、経年により接着力が低下して接着が剥がれて車内に雨水等が浸入し、最悪の場合、ガラスが脱落するおそれがある。				

11. BYD JAPAN 株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	輸入期間
11月25日	外4104	車名：BYD 型式：不明 通称名：K8 1.0 他	34台	令和3年 7月21日 ～ 令和6年 2月 9日
不具合の部位等				
スロープセンサー信号線において、設計検討が不十分なため、配策が不適切なものがある。そのため、スロープセンサーが損傷し、スロープ板を使用しても車いす表示灯が点灯しないおそれがある。また、スロープ板が閉じて乗降ドアが開いた状態と誤認されて閉まらず、走行できなくなるおそれがある。				

12. フォルクスワーゲングループジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	輸入期間
11月27日	外4121	車名：ベントレー 型式：7LA-3S40C 他 通称名：コンチネンタル GT V8 PHEV 他	11台	令和7年 3月19日 ～ 令和7年 6月11日
不具合の部位等				
左右のフロントエアスプリングにおいて、製造工程が不適切なため、上部のサークリップが正しく組み付けられていないものがある。そのため、走行中の振動等によりサークリップが緩むと、エアスプリングからエアが抜け、緩衝機能が失われるおそれがある。				

13. 日立建機株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
11月28日	5741	車名：日立 型式：YDR-LAFA 通称名：ZX125W-7	59台	令和5年12月 1日 ～ 令和7年 6月 2日
不具合の部位等				
ショベル・ローダの旋回を制御するステアリングバルブにおいて、製造工程が不適切なため、油圧を調整するショックバルブ調圧用ネジの内部にあるバネが、正規位置に組付けられていないものがある。そのため、稼働時の外力によりバネが正規位置に戻ると、内部の圧力を保持できず、最悪の場合、左右旋回操作をした際に油圧が発生せず、旋回不能になるおそれがある。				

14. エスシーアイ株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
11月28日	外4120	車名：モーガン 型式：不明 通称名：PLUS FOUR	11台	令和2年 9月25日 ～ 令和3年 2月 4日
不具合の部位等				
スタータにおいて、防水性の検討が不十分なため、水溜まり等を勢いよく走行するとスタータのリレー内部に水が浸入することがある。そのため、そのまま使用を続けると、接点部が短絡しエンジン始動不能や、最悪の場合、火災に至るおそれがある。				

15. フォルクスワーゲングループジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	輸入期間
11月28日	外4122	車名：アウディ 型式：3AA-F2DJPF 他 通称名：アウディ RS6 アバント 他	11台	令和7年 5月22日 ～ 令和7年 7月 8日
不具合の部位等				
前席シートベルトバックルにおいて、組立工程が不適切なため、バックル内部構成部品のリベットが組み付けられていないものがある。そのため、車両衝突時に前席シートベルトによる乗員保護性能を確保できないおそれがある。				

【参考】

●令和7年11月のリコール届出件数

全体（件）		内 訳（件）	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	12（－5）	5（－9）	7（＋4）
輸入車	19（＋10）	10（＋5）	9（＋5）
計	31（＋5）	15（－4）	16（＋9）

※（ ）内は、対前年度同月比

●令和7年度のリコール総届出件数及び総対象台数

<速報値>

月	届出件数（件）			対 象 台 数（台）		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	9(+3)	21(+12)	30(+15)	142,771(+3,851)	39,331(+30,347)	182,102(+34,198)
5	16(+4)	18(+2)	34(+6)	140,390(－220,251)	23,504(－138,131)	163,894(－358,382)
6	22(+4)	28(+11)	50(+15)	142,323(－237,965)	38,349(－897)	180,672(－238,862)
7	22(－2)	15(+1)	37(－1)	700,376(+387,097)	25,977(－67,593)	726,353(+319,504)
8	5(+3)	11(－1)	16(+2)	31,775(+30,052)	12,901(－29,081)	44,676(+971)
9	12(+2)	14(－1)	26(+1)	139,450(－1,614,322)	18,113(－3,382)	157,563(－1,617,704)
10	8(－19)	24(+8)	32(－11)	1,289,815(－131,527)	17,829(－54,484)	1,307,644(－186,011)
11	12(－5)	19(+10)	31(+5)	8,456(－20,158)	59,366(+33,922)	67,822(+13,764)
小計	106(－10)	150(+42)	256(+32)	2,595,356(－1,803,223)	235,370(－229,299)	2,830,726(－2,032,522)

※（ ）内は、対前年度同月比

（問い合わせ先）

国土交通省物流・自動車局審査・リコール課
リコール監理室 久米・藤坂
電話 03-5253-8111（代表）（内線 42353）